

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	演技研究Ⅱ	
開設学科	声優・演劇科		コース名			開設期	後期
対象年次	1年次		科目区分	必修		時間数	40時間
単位数	2単位		授業形態	講義			
教科書/教材	レジェメ・資料は必要に応じて配布。参考資料等は授業内で指示する。						
担当教員情報							
担当教員	尾花宏行・笹倉舞			実務経験の有無・職種	有・俳優　演出家		
学習目的							
学生が演技研究Ⅰで学ぶ事に引き続き、俳優としてのスキル上昇の為に自分自身の興味に偏らず様々なジャンルを鑑賞・ディスカッションすることで、より自己の表現を豊かにする手法を探し出し、時代の移行による表現方法の変化や映像手法の違い等、演技を構成していくにあたって必要になる事柄の多角的かつ多層的な要素を理解し、より高度な演技を模索し取り込んでいく事ができる声優・俳優になれる事を目的とする。							
到達目標							
引き続き表現の手法の嗜好が偏らないよう様々なジャンルの有用性を考慮したうえで、声優・俳優として与えられた配役の役柄としての理解を深め、その為にどのような役作りをしていくべきかを考える力をさらに持てるようにする。時代と共に変化をしていく演技法を、自己の表現の為に、外観改造、内心や心情を思索する等、様々な要素を役作りに取り入れ、声優・俳優の仕事に対してより本質的な向き合い方ができる役者になる事を目標にする。							
教育方法等							
授業概要	舞台・映画・アニメーション・ゲーム等、様々なメディアにおいて必要な、キャストについてさらに見識を深める。演技する者として表現者であり続けるために様々なジャンルの作品を通して、自分に有益なものを吸収し、演技というものを理解する。この授業に参加する学生が、固定観念に縛られず、自由な発想、役柄の掘り下げ方など、芸能の世界において活動していくための研究の必要性を理解することを目指す。						
注意点	授業において鑑賞した作品のレポートの提出は必須とする。作品内容（あらすじ）の理解よりも自分自身がどう思いどうしていくべきかを意見できる事を評価・重要視する。恒常の出席が単位授与の基本原則である。授業時数の4分の3以上出席をしない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備　考				
	試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する				
	レポート	40%	作品内容の理解度・感想・意見等を確認するために実施する				
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～10回）							
回	授業内容		各回の到達目標				
1回	古典作品鑑賞（1）		古典作品について理解する。				
2回	古典作品（邦画）鑑賞（2）		古典作品（邦画）について理解する。				
3回	テキスト/ドキュメント作品鑑賞（1）		ドキュメント作品を理解する。				
4回	ドキュメント作品鑑賞（2）		邦画によるドキュメント作品描写の違いを理解する。				
5回	技術革新作品鑑賞（1）		革新的な技術を用いた作品に関しての、技術と演技の融合について理解する。				
6回	技術革新作品鑑賞（2）		最新技術を用いた作品を考察、それによって演技との関係性を理解する。				
7回	舞台作品鑑賞（3）		舞台での表現方法と映像での表現方法の違いについて理解する。				
8回	アニメーション作品鑑賞（3）		アニメーションを考察、声優について考察し、なぜ声優が必要なのか理解する。				
9回	アニメーション作品鑑賞（4）		アニメーション作品を考察、声優の技術について理解する。				
10回	役作りについて　まとめ		様々なジャンルを見比べて来て、自分がどのように作品に関わり、どんな声優・俳優になるべきかを考え、理解する。				